

広島商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	経営学概論
科目基礎情報						
科目番号	1944023		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	流通情報工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	会計学基礎論 (神戸大学会計学研究室)					
担当教員	田上 敦士					
到達目標						
(1) 財務諸表が読めるようになること (2) 財務諸表から様々な分析を通じて自ら企業の状態を判断できるようになること						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	企業の収益性、安全性を測ることができる		財務諸表が読める		財務諸表が読めない	
評価項目2	企業間の比較、趨勢分析ができる		企業の特徴を掴むことができる		企業間の比較ができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	会計学の全分野にわたって、初歩的な事項を修得することを目標とする。企業が公表する財務諸表は、どうやって作成されるのか。企業の利害関係者はそれをどのように利用しているのか。財務諸表が写し取っている企業活動はどんなものか。そのような基本的な内容を理解することを目指す。					
授業の進め方・方法	電卓必要、自分で問題や課題を解くこと。講義を聞くことで終わらせず常に予習復習 (レポート課題含む) すること。就職活動の一環として社会情勢を見据えて臨むこと。					
注意点	授業中許可無く他のことをすれば容赦なく減点する。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	複式簿記のしくみ	複式簿記の復習、試算表の作成ができる		
		2週		複式簿記の復習、精算表の作成ができる		
		3週		3級の検定問題を解ける		
		4週	簿記と会計	簿記システムを説明できる。		
		5週		簿記システムがが会計学に必要な不可欠であることが説明できる		
		6週		経済活動を説明できる		
		7週		会計学を説明できる		
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	財務諸表	経済活動と会計学との関係を説明できる		
		10週		財務諸表を理解できる		
		11週		簡単な指標 (収益性) での企業分析ができる		
		12週		簡単な指標 (安全性) での企業分析ができる		
		13週		就職活動において企業分析の重要性を理解する		
		14週				
		15週				
		16週	期末試験			
後期	3rdQ	1週	勘定科目の特徴	簿記における各勘定科目が会計上どのような特徴を持つのか理解する		
		2週		会計上のテクニックがもたらす利益や損失について理解する		
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週	中間試験			
		8週	原価計算	工業簿記の基本を理解する		
	4thQ	9週		原価計算の基本問題を解くことができる		
		10週		損益分岐点計算ができる		
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週	期末試験			

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	10	50
専門的能力	40	0	0	0	0	10	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0